

H24 年度科学技術関係予算に関する府省政務会合（総務省）

1 日時：平成 23 年 10 月 6 日 10:30～10:50

2 場所：中央合同庁舎 4 号館 2 階 第 3 特別会議室

3 出席者

内閣府：大串政務官、総合科学技術会議 相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、中鉢議員、青木議員、今榮議員

総務省：森田政務官、久保田大臣官房総括審議官、松原消防庁消防研究センター所長

4 説明概要

冒頭、大串政務官から、「第 4 期科学技術基本計画を基に、アクションプラン対象施策をまとめ、今後、施策パッケージについて取り組んでいくこととなるが、国家財政が厳しいなか、メリハリのきいた科学技術予算を作っていくため、各省とも実りのある議論を行いたい」旨、発言あり。

引き続き、総務省から森田政務官を中心に、資料に沿って説明があり、質疑応答。

5 説明のポイント 《科学技術関係予算 要求・要望額 658 億円》

- ・来年度概算要求については、聖域なく徹底した予算の見直しを行った一方、東日本大震災からの復興や日本再生に向けた施策を取りまとめ。
- ・科学技術関係予算としては、総務省重点施策の柱の ICT による日本再生の推進に係るものとして、光ネットワーク技術等、日本が次世代をリードする研究開発を推進するとともに、国民の命を守る消防防災行政の推進に係るものとして、消防の災害対応力の強化・充実に関連する研究開発を推進。
- ・政府全体として ICT 関連施策を重点化・集中投資するように、総合科学技術会議に期待。

6 質疑応答模様

【奥村議員】

科学技術関係予算について、聖域なく見直しをおこなった部分について説明願いたい。

【総務省】

競争的資金など継続事業の見直し・減額により、震災対応の施策への重点化を行っているところ。

【中鉢議員】

科学技術によって、災害に強い通信・放送インフラを構築しようという点は非常に分かりやすい。

【相澤議員】

I C Tについては、情報通信戦略も決定されており、特に経済産業省との連携を実態的に進めてほしい。

【大串政務官】

メリハリのメリの部分で競争的資金の例があったが、基本的には薄く広く継続事業を抑制して、ハリの部分を作っていると理解している。総合科学技術会議がメリハリある予算をとる点については、各府省の中でもメリの部分にかなり差をつけていただきたいという基本的な考え方があるので、今後一緒に検討していきたい。

以上